

# 知的財産権基礎知識 初級編

## 第1部 これからは知的財産の時代

1. 声を大にして言いたい
2. 経営戦略の中心は技術戦略にある
3. 特許戦略の基本

## 第2部 知的財産権が重要視されるようになった“きっかけ”

1. 米国のプロパテント政策（きっかけ その1）
2. 新興国への技術移転（きっかけ その2）
3. それで、日本はどうなった（きっかけ その3）

## 第3部 特許制度のポイント

1. 産業財産権の目的
2. 市場が独占できること
3. 他社の模倣から守る
4. 特許は商品として扱える
5. 他社との相互利用が出来る
6. 企業の信頼性が高まる

## 第4部 発明とは、特許とは何だろう

1. 発明の定義
2. 発明の種類
3. 特許要件と実用新案要件との比較
4. どんな発明が特許になるのか
5. いかにもすばらしいアイデアでも全てが特許になるとは限らない
6. 特許を受けられない発明
7. 基本発明と改良発明
8. 複写機における具体的な特許説明 (1)
9. 複写機における具体的な特許説明 (2)
10. 複写機における具体的な特許説明 (3)

## 第5部 仕事で役立つ知的財産権の知識

1. 知的財産権の範囲
2. 産業財産権とは
3. 知っておきたい重要法令（1）職務発明第35条
4. 知っておきたい重要法令（2）侵害の罪
5. 特許権の侵害とならない場合
6. 特許権の侵害となる場合
7. 特許権の発生および存続期間
8. 特許出願のフロー図説明
9. 出願に際しての注意
10. 意匠
11. 商標